

日本という国は、
ずっとあるかな？



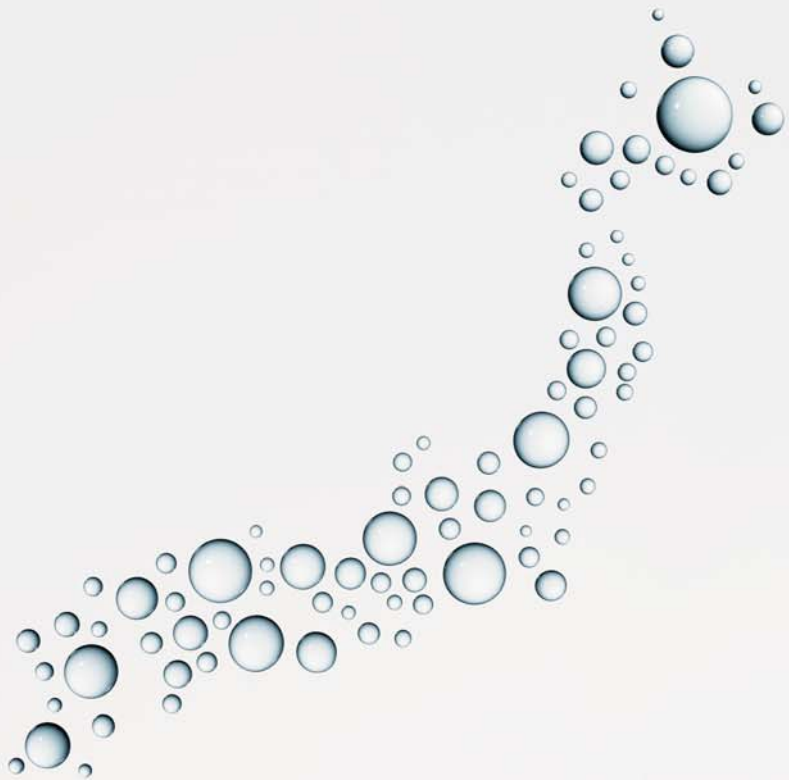
2110年。

日本の人口は、今の約3分の1の
4,286万人と予想されています。

2110年の日本の総人口4,2
86万人。そのうちの半分近くが
お年寄りで、子どもは1割未満。
このまま人口減少が進んだときの、
100年後の日本の姿です。

みなさんがこれから向き合う日本の
課題は、どこかで人口減少とつながっ
ています。人口が減れば、社会のカタチ
や幸せのあり方が変わっていく。

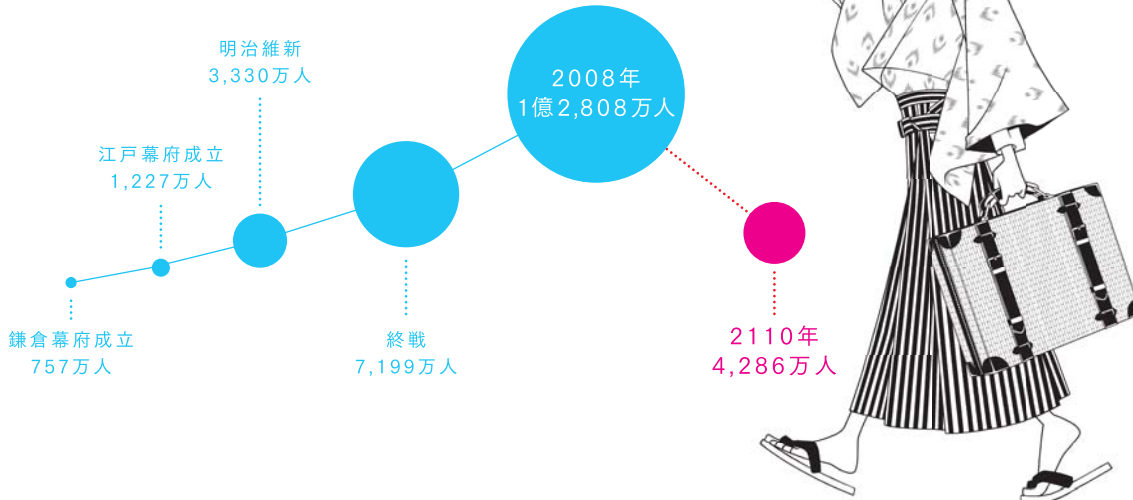
日本の課題を、みなさんの将来を
考えるきっかけにしませんか。



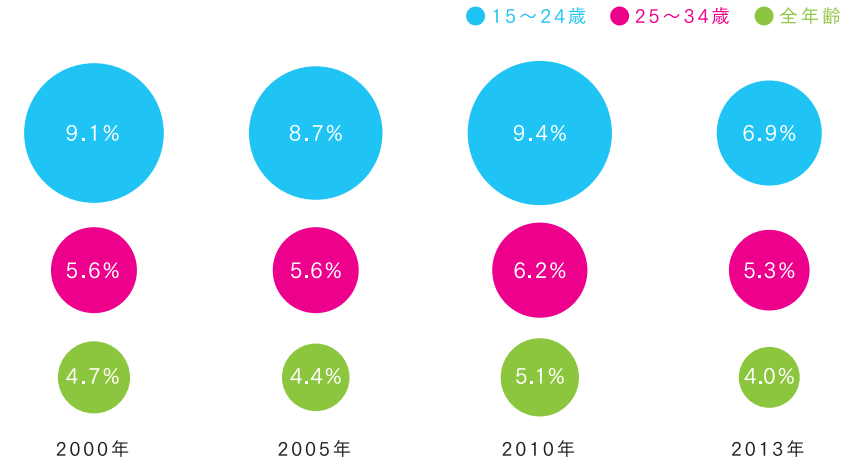
DATA 日本をデータで見よう。



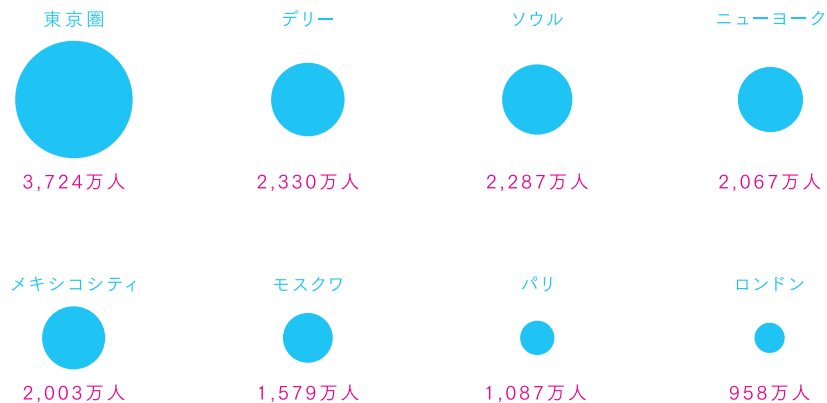
01 日本の総人口の超長期推移



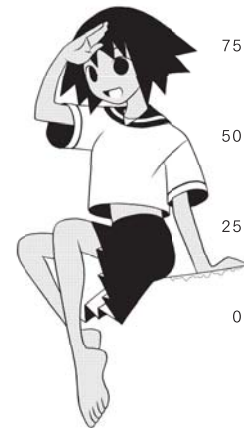
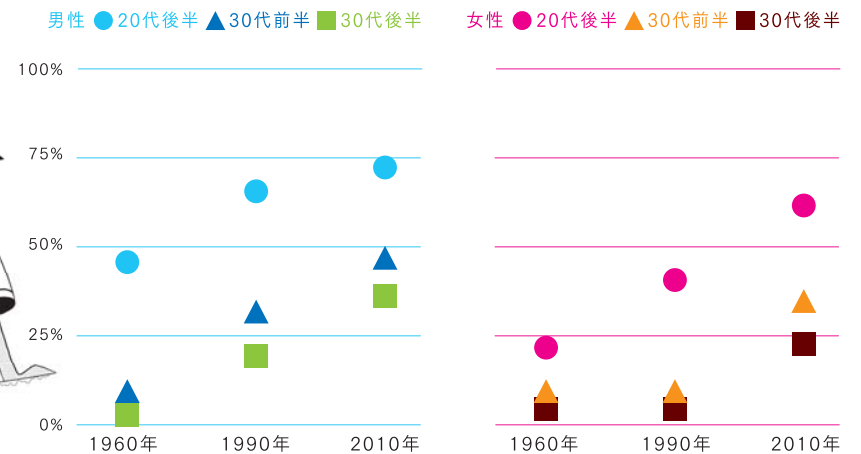
03 若年層の失業率の推移



02 世界の都市の人口集中の状況 (2013年)



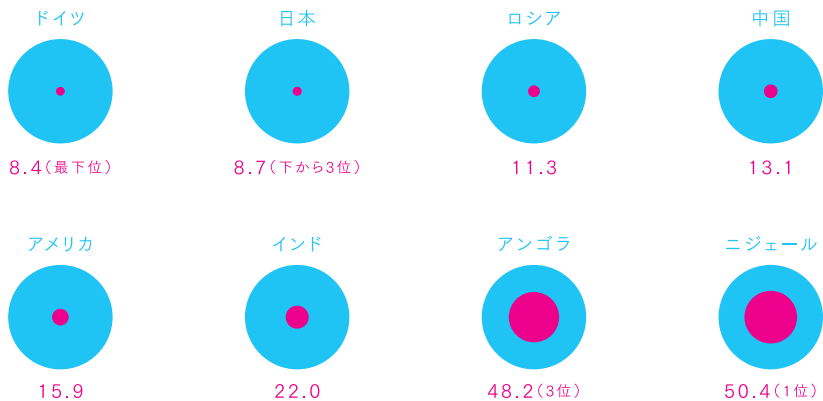
04 年齢別未婚率の推移



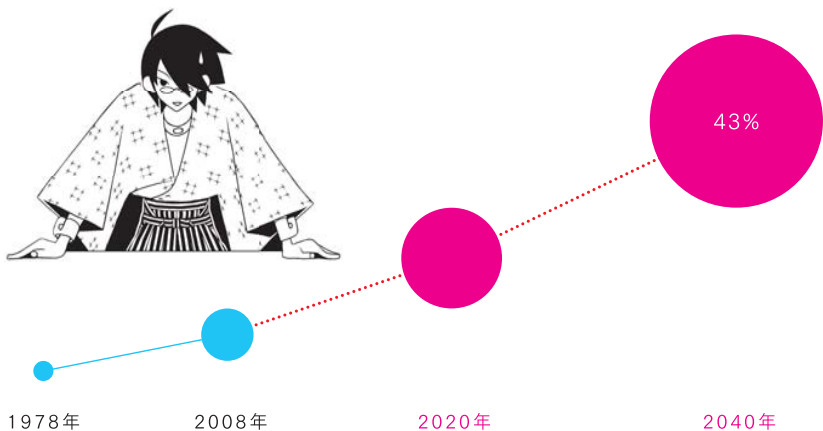


05 世界の普通出生率 (2005年~2010年平均)

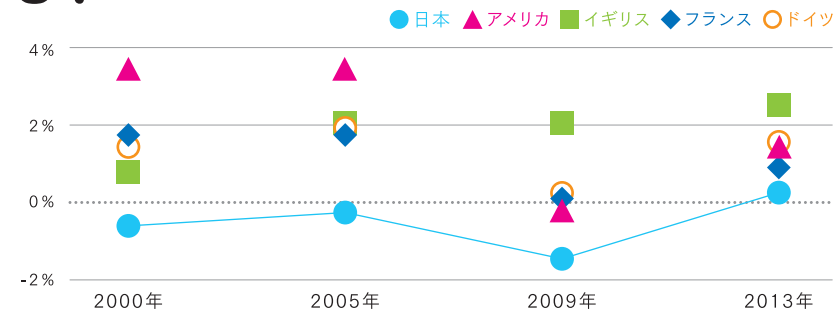
人口1,000人に対する1年間の出生数



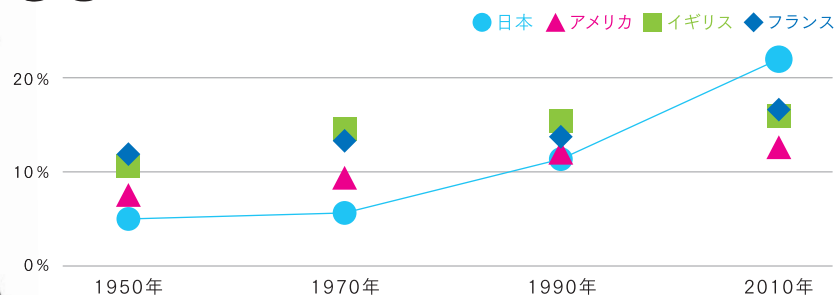
06 空き家率の推移



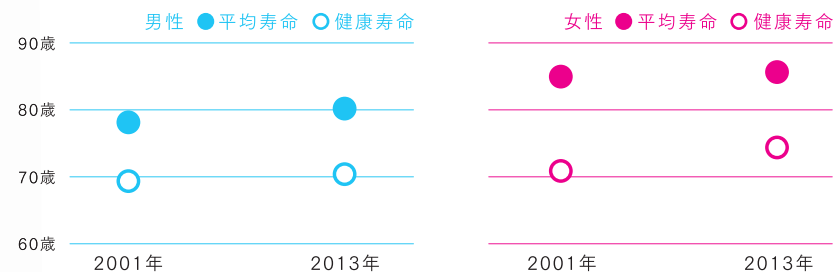
07 物価上昇率の推移



08 高齢化率の推移



09 健康寿命と平均寿命の推移



これからの日本は、 みんなの宿題だから。

- 未来を考えるときは、人口問題といっしょに考えよう。
- 今までのやり方にとらわれず、みんなで力を合わせて動きだそう。
- いろんな年代、いろんな個性が活躍できるようにしよう。

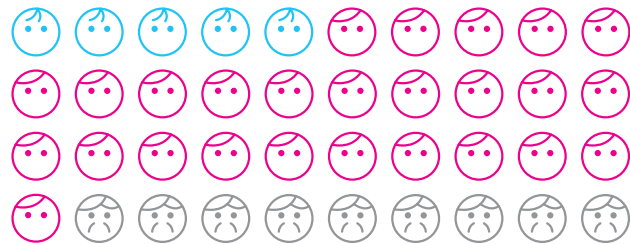
例えば、
国が考えている
対策を完遂した場合。

少子化対策
地方創生
経済再生

現在

2010年 人口 1億2,806万人

2010年の日本を40人のクラスに例えると。



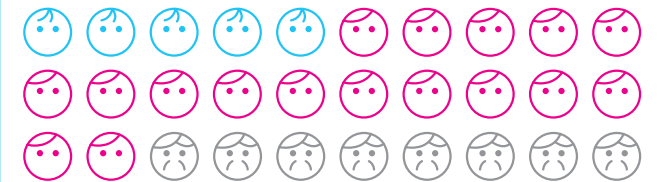
東京への一極集中と地域の過疎化が進んでいます。



人口減少対策を行った後の未来

2110年 人口 9,661万人

子どもと働く人、お年寄りの現在のバランスがほぼ保たれます。



世界に開かれた東京と、独自の文化をもつ地域が
影響し合い、日本の活気が保たれます。

現状のままの未来

2110年 人口 4,286万人

子どもと働く人が減り、お年寄りも減っています。



東京への一極集中が進み、地域の魅力や特色が
失われ、日本全体の活気が失われます。

いつしよに。

この国のいろんな課題を解決する、
いろんなアイデアと、
いろんなアクションが、
いっぱい生まれますように。



みんなで
未来を
解こう教室

